

## 会議の経過

露木課長	<p>1 開会</p> <p>皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただ今から平成 29 年度第 2 回大井町総合教育会議を開催いたします。本日、司会を務めます総務安全課長の露木と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>「次第 2 町長あいさつ」間宮町長よろしくお願いいたします。</p>
間宮町長	<p>2 町長あいさつ</p> <p>改めまして、皆様おはようございます。教育委員の皆様におかれましては、日頃、町の教育行政にお力添えをいただいておりますこと、この場を借りてお礼申し上げます。また、本日は、大変お忙しいにもかかわらず、第 2 回大井町総合教育会議に御出席を賜りまして、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、年明け以降、私は成人式や立志式といった式典に出席させていただいたのですが、率直な感想として、皆一応に大人であると感じました。特に、立志式において自分の将来をしっかりと思い描けている中学生には驚かされ、我々世代が果たしてその当時どうであったかと思いを巡らせたほどでした。しかしながらその反面、いわゆる地域のコミュニティの中に溶け込もうとする意識が我々よりも希薄になっているところがあるのではないかと感じますので、我々が大人になるということの認識と若干ギャップがあるようにも感じたところです。</p> <p>そして、今まさに韓国の平昌で冬季オリンピックが開催されているのですが、日本の選手は国民の期待に負けてしまうところがあるのではないかと思うところがあります。それは、日本の気候や風土により育くまれる繊細な心情が、大事な場面で余計なことを意識するように作用してしまい、思いどおりの結果に結びつかないのではないかと考えるからです。やはり、世界の頂点を極める人間は、揺るがないプレーへの集中力と、プレッシャーを跳ね除ける強靱な精神力を併せ持っていると思います。特に、オリンピックの中継などを見ていると、こういった思いを強く感じるとともに、自国の選手に歯がゆさを覚えるところです。本日の神奈川新聞に、神奈川県立高校の部活動を週 2 日休養にするという記事がございました。過去には県立高校でも名将と呼ばれるような指導者もいたわけですし、のちのプロ選手やオリンピックを育てた高校も少なくありません。また、経済的に厳しい環境に置かれた生徒にとってみれば、部活動に寄せる期待も大きいものではないかということなどを踏まえますと、一律にこうした仕組みを当てはめてしまうというやり方には、残念な思いがいたします。</p>

	<p>それから、本日の協議・調整事項にも挙げさせていただいておりますが、幼児教育に関しましては、特に保育所の待機児童問題が問題視されているわけですが、この問題は全ての保育所に当てはまるものではなく、地理的な特性により実態が異なっているところがございます。したがって、冷静に実態を把握した上で最も効率的な対応を考えるというスタンスを念頭に、保育の質についても考えていかなければならないと感じております。</p> <p>いずれにいたしましても、教育がひとつづくりには欠かせない大事な要素であることには変わりありませんので、本日も皆様からの忌憚のない御意見をお聞かせいただき、大井町の子どもたちが健やかに育つような教育に結びつけてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
露木課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者につきましては、御手元に配付させていただいております資料次第の裏面でございます「出席者名簿」のとおりとなっております。</p> <p>それでは、「次第3 協議・調整事項」に移ります。大井町総合教育会議運営要綱第2条第1項の規定によりまして、議長は町長となりますので、これからの進行は間宮町長にお願いいたします。</p>
間宮町長	<p>はい。ただ今司会の教示にありましたとおり、規定に基づき私が議長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。なお、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただく機会があるかと思っておりますので、御了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは協議・調整事項（1）「幼児教育の現状について」を協議したいと思いますので、説明者から要点に触れて説明をお願いいたします。</p>
橋本課長 石井課長	<p>3 協議・調整事項</p> <p>(1) 幼児教育の現状について</p> <p>(※パワーポイントで、大井町の保育園の現状について解説した。)</p> <p>(※パワーポイントで、大井町立幼稚園の現状について解説した。)</p>
間宮町長	<p>ただ今、幼児教育の現状に関する説明がありました。これを受けまして、委員の皆様から、御質問や御意見等がありましたら御発言いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
間宮町長	<p>これからより多くの若い女性に就労してもらうことを考えますと、</p>

<p>石井教育長職務代理者</p>	<p>企業内託児所が増えてくるのではないかと思いますし、むしろ経済界はやらなければならないのではないかと感じます。そこには、人材確保といった考え方もあるでしょうし、企業の責務といった考え方もあるでしょうが、いずれにいたしましても、行政が全てを担うという発想では、なかなか雇用にも繋がっていかないと思います。それから、これは官民ともに言えると思うのですが、年度途中の入園を見込んだ園の運営と言うのは、非常に非効率でありますし、経営的にも無駄が生じるものですから、この辺りは希望する側と受け入れ側の調整が、非常に難しい部分であると思います。</p> <p>私も待機児童問題というのは、いわゆる住みたい町ランキングなどで上位を占めるような地域に起こっている特有な問題であろうと思います。大井町も定住や外部からの移住を促す様々な施策が展開されているわけですし、今後、保育が必要な世帯が増えれば、こうした問題が重大性を帯びてくると思われれます。私は、大井町が推進している三世帯同居に共感するところがありまして、こういった家族構成の世帯が増えれば、子育ても介護も家族で賄える部分が出てくるのではないかと考えます。また、企業内託児所に対する町長の考えを聞いていたのですが、大井町で大きな企業というと役場も当てはまるのではないかと思いますし、役場でも託児所を設けるような考えがあってもよいように感じました。</p>
<p>間宮町長</p>	<p>やはり、子どもを預けるということを考えますと、出来るだけ保護者の近いところに預けるということが大切ではないかと思います。また、どの程度の規模の企業が託児所を設ける必要があるかということについては、国がガイドライン的なものを示す必要があるように思います。それから、大井町においては、先ほども説明にありましたように、認定こども園への移行ですとか、保育園の増改築ですとか、色々対応策が考えられるのですが、さらに補足させていただきますと、その経営母体をどうするかという課題もあるように思いますので、先を見通した検討を進めていかなければならないと思っております。</p>
<p>間宮町長</p>	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
<p>中條委員</p>	<p>いくつかお尋ねいたしたいのですが、先ほどの説明の中で、虐待とか育児放棄といった事案が増加傾向にあるという説明がありましたが、幼児期の育ちというのは、その後の成長に大きく影響を与えるものでもありますので、そういう家庭へのサポートというのはどのようになされているのかということと、仮に認定子ども園に移行すること</p>

橋本課長	<p>とした場合に、どのような問題が想定されるのかについて教えていただけますか。</p> <p>まず、虐待等の状況がある家庭につきましては、幼稚園や学校関係者のほか、小田原児童相談所の所員など関係機関で構成される要保護児童対策推進協議会という組織において、実務者会議を年 4 回、代表者会議を年 2 回開催し、個々のケースに応じてチームで対応を図るとともに、幼稚園や学校と緊密な連携を図ってお互いに状況把握に努めております。ケースによっては、保育園で預かることが幼児の安全を確保できるという場合があります、受け入れることもございます。次に、認定子ども園への移行に伴う問題点ですが、設備的な部分で申し上げますと、調理室を整備する必要が生じてくると思われま。これは、0 歳児から 2 歳児の給食に対応するためには必要になってまいります。また、授乳室やほふく室なども用意する必要がありますが、これは多額の費用を投じなくても、区画がきちんと設けられ、安全性が確保できていればよいものと考えます。その他には、保育園と幼稚園の保護者の関わり方に温度差があるということが課題になってくると思われま。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
間宮町長	<p>ところで、保育園の園長については、過去に教育的な配慮から教員経験者を登用するようにして現在に至るのですが、小学校に進学した保育園児たちの学びの様子が幼稚園から進学した児童たちよりも進んでいるというような話などはありませんか。</p>
夏苺教育長	<p>特に学校現場からそういった声は聞かれま。ただ、幼稚園においては、3 歳から入園した園児と 4 歳から入園した園児とでは成長の違いに驚かされるといった話をたびたび聞くことがあります。ですから、集団生活に早く慣れることによる違いは大きいと思いま。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
夏苺教育長	<p>子育て健康課とはこれまでも連携を図ってきたのですが、今回、具体的な数字で状況を把握できましたので、今後に繋げてまいりたいと思うところ。特に、人口が減少傾向にあるにもかかわらず、保育のニーズは横ばいという実態が示されたことなどをしっかり理解した上で、今後、さらに具体的な検討を進めていかなければならないと思っております。</p>

間宮町長	<p>それから、教育の無償化が実施されますと、保育利用者の心理といましては、料金に代わる何か他の魅力を探して、預け先を決めるようになるのではないかと考えます。そういったことを踏まえますと、今後、幼児保育の現場に混乱が生じるのではないかという懸念があります。国のこうしたやり方で少子化が解消に向かうとも思えませんし、あまりにも短絡過ぎるのではないかという思いがいたします。国にはもう少し緻密で洗練された仕組みを構築してもらいたいと望むところです。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
間宮町長	<p>それでは御意見等も出尽くしたようですので、この件につきましては、この辺りで協議を終了したいと思います。御異議ございませんか。</p> <p>～異議なし～</p>
間宮町長	<p>御異議もないようですので、次の協議・調整事項に進みます。  (2)「学校教育における教職員の勤務実態について」を協議したいと思いますので、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p>
石井課長	<p>(2) 学校教育における教職員の勤務実態について  (※パワーポイントで教職員の勤務実態を説明した。)</p>
間宮町長	<p>ただ今、教育総務課長から学校教育における教職員の勤務実態に関する説明がありました。これを受けまして、委員の皆様から、御質問や御意見等がありましたら御発言いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
中條委員	<p>今回の調査においては、教員からの改善要望などを自由に書かせる記述欄などが設けられていたのでしょうか。</p>
石井課長	<p>今回は県が実態を把握するために実施したものでございまして、特に、どの業務にどの程度時間をかけているのかという部分を把握する目的で実施されたものになりますので、そういった記述欄は用意されておりませんでした。</p>
中條委員	<p>前回の総合教育会議でも話したことなのですが、やはり教員になられた方は、子どものためという使命感に燃えて取り組まれていると思いますが、長時間勤務を厭わない教員がいる反面、そうした現状に耐</p>

<p>間宮町長</p>	<p>えられない教員もいるわけですので、そういった教員の声を吸い上げる仕組みが必要であると思います。ですから、こういった調査を活用して声を聞くような工夫があってよいのではないかと感じました。</p> <p>ところで、中央教育審議会の答申というものは公立学校だけに及ぶものなのでしょうか。公立学校は土・日が休みなのですが、私立学校は日曜日だけが休みになっています。そういった環境の違いがあるにもかかわらず、私立学校では教員の働き方にあまり問題がないように感じています。それから、部活動にしても土・日を厭わず活動が活発にされていて、施設や設備の整備も公立とは比べものにならないくらい充実しているわけです。ですから、私立学校の実態というものも非常に興味があるわけですし、同じような調査を実施しているのかどうか不思議に思います。それと、やはり公立学校は生徒指導の一環として家庭に関わりすぎていないかという思いが強いです。これは特に中学校に当てはまるといいますので、部活動も含めて中学校で調査を実施したほうが、より勤務実態の厳しい状況が見えてくるのではないかと思います。</p>
<p>石井課長</p>	<p>ちなみに、国が示した緊急対策の中で、具体的に学校が担う業務とそうでない業務というものが例示されておりして、例えば、基本的に学校以外が担うべき業務といたしましては、登下校の見守り、放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応などが挙げられております。それ以外にも、教員の負担を軽減することが可能な部分として詳細に記述があるのですが、果たしてそれでよいのかという感想を持っている教員もいますので、この辺りは教員の感じ方にバラツキがあるように思われます。</p>
<p>石井教育長職務代理者</p>	<p>家庭との関わりというところで関連した質問なのですが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった方々は、実際にどういった役割でどのように活用されているのでしょうか。</p>
<p>指導主事</p>	<p>まず、この2職種の方々には、県から派遣されている者と町で雇用している者とがおります。県から派遣されている者につきましては、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーにそれぞれ1名ずつおり、いずれも中学校に配属されております。スクールカウンセラーは、週2回出勤し、ケース会議などで先生方に適切なアドバイスを講じるほか、生徒の悩みや相談なども受けてもらっております。スクールソーシャルワーカーは、学校における社会福祉士という位置づけで、月2回出勤し、必要に応じて小学校にも出向してもらっており、</p>

	<p>子どもだけでなく家庭に対するアドバイスを講じてもらっております。また、町で雇用している者といたしましては、スクールカウンセラーが2名おりまして、児童や生徒ばかりではなく、保護者や先生の悩みを聞きながら、適切なアドバイスを講じてもらっております。また、発達相談にも応じてもらっており、客観性、信頼性のある意見をいただいているところです。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
小島委員	<p>今回の調査結果を見ると、20代の先生の割合が多く、授業や授業の準備にかかる時間が多いという結果がでていることから、大変意欲的に取り組んでいられるということが分かります。これから、道徳や英語も教えていかなければならないとなりますと、当然評価や採点の業務も増えるわけですし、先生の負担はさらに増すわけですので。そういったことを踏まえまして、町では採点業務などをサポートする人をつけるような考えはあるのでしょうか。</p>
間宮町長	<p>町といたしましては現在のところ、そこまでは考えておりません。それよりも、私といたしましては先生自体が少ないのではないかと思うところがございます。特に、小学校6年間で学ぶ学習内容は、その後の教育の基礎になるわけですから、この時期の学習指導を徹底的に教え込むことが大事ではないかと思えます。ですから、理想といたしましては、補習や個別指導などにも対応できるくらい的人数がいてくれるとよいのではないかと思います。やはり、分からないまま進学してしまうと授業が分からなくなってしまうと、授業の妨げになるような行動をとってしまうことにもなりかねないので、小学校で学ぶべきことをしっかり身につけさせるための指導が徹底されるべきであろうと感じております。また、義務教育の教員数が増えれば、当然、教員の負担軽減にも繋がるわけですから、町といたしましても、そういった要望を県や国に発信していきたいと思っております。</p>
小島委員	<p>私も同様に考えるところがございます。やはり評価や採点の大事なところは、どこが分からないのか、どこで躓いているのかということを知るところにあると思えます。ですから、事務的に別の方がこの業務を担うということや授業の質の面から考えますと、疑問を感じる場所です。そういった意味からも、1学級を2人で担任するような仕組みになるとよいのではないかと思います。また、過去に大井小学校で行っていたいわゆる教科担任制のような仕組みも、多くの先生がひとりの子どもに関わるという意味ではよい制度なのかもしれませ</p>

<p>間宮町長</p>	<p>ん。いずれにいたしましても、教員数を増やしていただかなければ対応も難しいと思いますので、その辺りが課題であるように感じます。</p> <p>そうですね。そういった教育現場の声を国が吸い上げ切れていないところにも問題があるように思いますし、制度改革も現場の声を踏まえて実施されているものなのかどうか疑問に思うところがあります。</p>
<p>夏苺教育長</p>	<p>国の動向といたしましては、働き方改革の推進などもあって、財務省なども教育に対する予算の配分に配慮してもらっているところがございます。例えば、英語教育に必要な教員の人件費的なものに充てるための予算措置などが挙げられますが、この予算は全国の市町村にあまねく配分できるほどの規模ではないので、不満に思うところがある反面、こうした動きから状況はよい方向に向かっているようにも感じられるところがございます。また、スクールサポートスタッフと呼ばれる、事務をサポートするための人材を3,000人配置するという計画もあり、すでに県立学校には必ず配置する予定となっているとの話も聞いておりますが、このスタッフの人件費負担の考え方などからすると、果たして計画どおり実現されるのかどうか疑問に思うところもあります。いずれにいたしましても、働き方改革の推進に向けた取り組みが具体的に示されてきてはおりますが、最も重要な教員の定数見直しなどは棚上げのままとなる様相が強く、代わりに示された教員の負担を軽減することが可能な業務などは、教育現場に混乱をもたらす部分もありますので、非常に戸惑うところがございます。そういった状況ではあるのですが、大井町においては学習支援やALT・JTEといった人の雇用に配慮していただいておりますので、今後はこういった方々を活用することなども考えてまいりたいと思っております。</p>
<p>間宮町長</p>	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
<p>中條委員</p>	<p>働き方改革で難しいのは、やはり家庭との関わりではないかと思えます。先ほどの説明の中で、学校以外が担う業務として児童や生徒の補導事案が挙がっておりましたが、果たしてそれでよいのかという疑問があります。私も学校があまり家庭のことを抱え込まないほうがよいとは思いますが、場合によっては手を引いた教師の対応が子どもや保護者に先生が見捨てたような思いを抱かせてしまうこともありますし、逆に教師がしっかりと向き合うことで更正のきっかけを掴むこともありますので、この辺りが非常に悩ましいと思えます。</p>



間宮町長	<p>そうですね。ただ、働き方改革でどういった業務が負担になっているかという考え方からいたしますと、こういった家庭との関わり方や部活動くらいしか対象に見出せないところがあるように思います。ですから、今の働き方改革の考え方の閉塞感を解消する意味でも教員の数を増やすということが先決ではないかと思えますし、教育の無償化よりも義務教育をしっかり受けさせる環境づくりのほうを優先すべきではないかと感じます。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
夏苜教育長	<p>今回の調査結果につきましては、真摯に受け止めるところなのですが、それでは具体的にどういった改善を図っていかなければならないのかということを検討する必要が生じてくるわけでございます。すでに、国から県へは今回の調査結果を踏まえた対応について、通知等が発出されていると聞いておりますので、近日中には市町村にも通知がなされると思われまます。内容を確認するとともに、実態を踏まえて対応していくように努めたいと考えております。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などはありませんか。</p>
間宮町長	<p>他に、御質問や御意見などが無いようでしたら、この件につきましては、この辺りで協議を終了したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>～異論なし～</p>
間宮町長	<p>それでは、協議すべき事項もひととおり終わりましたので、進行を司会に戻したいと思えます。本日いただいた貴重な御意見は大変重要なものであったと感じておりますし、改めて我々の考えだけで教育現場を変えていくということが困難なものもあると認識した部分もございしますが、大井町の子どもたちが健やかに成長できる環境に改善していくという思いも更に強く持ったところです。特に、大井町の保育の受け皿をどのように広げていくのかという方向性を決める時期が来ているように思えますので、今後も皆様の御意見をお聞かせいただきたいと願うところです。本日は大変ありがとうございました。</p>
露木課長	<p>4 閉会</p> <p>長時間にわたる御協議、大変お疲れ様でした。</p> <p>さて、今年度の総合教育会議は今回で最後となります。次年度につきましては、改めて日程調整を図り、期日を決めてまいりたいと思えます</p>

ので、御了承いただきますようお願いいたします。

それでは、これをもちまして、平成 29 年度第 2 回大井町総合教育会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

閉会時刻 10時45分